

<研究課題名>

じ こ めんえきせい のうえん こうしんけいひょうめんこうたい
「自己免疫性脳炎における抗神経表面抗体の診断および長期予後に関する
た し せ つ きょうどうけんきゅう じょうほうこうかい
多施設共同研究」についての情報公開文書(説明文書)

保護者の方へ

これは臨床研究「自己免疫性脳炎における抗神経表面抗体の診断および長期予後に関する多施設共同研究」の情報公開文書です。内容を十分に確認していただき、本研究についてご質問等がありましたら遠慮なく、下記の相談者の連絡先までご連絡ください。

<研究機関・研究責任者>

日本大学医学部 ^{ふぞく} 附属 板橋病院 ^{のうしんけい ない か} 脳神経内科 (日本大学医学部内科学系 ^{しんけい ない か がく} 神経内科学分野)
原 誠

<研究期間>

病院長が許可した日 ～ 令和 11 (西暦 2029)年 7 月 31 日

<対象となる方>

自分の体に対する ^{めんえき} 免疫 が関与する ^{のうえん} 脳炎 (^{じ こ めんえきせい のうえん} 自己免疫性脳炎) の ^{しんだん} 診断 を受け、主治医より日本
大学医学部 ^{ふぞく} 附属 板橋病院脳神経内科で ^{じ こ こうたい} 自己抗体 の検査を行うと説明があった方。

<研究の目的>

^{のうえん} 脳炎 では、体の中で「 ^{じ こ こうたい} 自己抗体 」と呼ばれる自分(自己)を攻撃してしまう抗体(特に ^{こうしんけい} 抗神経
^{ひょうめんこうたい} 表面抗体 と呼ばれ、神経細胞の表面にあるタンパクを ^{ひょうてき} 標的 とした抗体)が作られてしまうことが
原因になることがあり、その場合は体の中に自己抗体があるかどうかを調べることで診断につな

がる情報が得られます。私たちは体の中に脳炎を引き起こす自己抗体があるかどうかを調べる研究をおこなっています。また、自己免疫がきっかけになる脳炎については、まだ十分にわかっていないことが多いです。

そのため、このような患者さんたちが担当の先生によってどのような検査や治療^{ちりょう}を受けて、どのように良くなっていくのかを調べて、この脳炎がどのような病気であるのかを明らかにするために研究をおこなっています。

<研究の方法>

この研究ではあなたの血液や脳脊髄液^{のうせきずいえき}（神経のまわりを循環^{じゆんかん}している液体）の中に自分の脳を攻撃^{こうげき}してしまう自己抗体があるかどうかを調べて、担当の先生に結果を連絡します。

また病気についての情報として、担当の先生があなたにどのような検査をおこなったのか、そしてあなたがどのように良くなっていくのかを担当の先生に質問をして調査します。

自己抗体を調べるための血液や脳脊髄液（これを検体^{けんたい}といいます）は、あなたの体の状態を調べるためにこれまでに採取されて、必要な検査に使われた残りの検体を使用しますので、この研究のために新たに検体を採取することはありません。またこの研究に参加することにより、あなたが担当の先生から研究のために追加で検査をされたり、薬を投与^{とうよ}されたりすることはありません。

もしこの研究に参加しなくても担当の先生があなたにおこなう診察や治療の内容に何も影響^{えいきょう}することはなく、適切な医療を受けられますので安心して下さい。

<検体の受け取りおよび提供^{ていきょう}する方法について>

私たちが担当の先生から収集するあなたの症状、検査や治療に関する情報はすべて匿名^{とくめい}の情報（それが誰のことか分からなくなっている情報）として受け取りますので、あなたの病気の情報が友達や学校の先生に知られることはありません。また自己抗体の検査のために担当の先生から送っていただいた検体についても、私たちの施設にある鍵のかかる大きな冷凍庫^{れいとうこ}の中でし

っかりと保管されます。

より詳しく検査するためにスペインのバルセロナにある研究機関に検体を送り、検査を依頼する場合がありますが、その場合でも同じように誰のものかわからない状態で送付されます。

<お問い合わせ窓口>

この研究に参加するかどうかは、家族の人とも相談して、よく考えて決めてください。途中で止めたくなったら、いつでも止められます。またわからないことや心配なことがあったら、いつでも聞いてください。

相談者についての連絡先

研究を行っている病院の名前: 日本大学医学部 附属 板橋病院

担当の医師: 原 誠(はら まこと)

電話番号: 03-3972-8111(内線: 2602)